

一、議長挨拶

「今日此處に我が連友同志會大會を斯くも盛大に開催し得たる事を全代議員諸君と共に祝賀したい。中略。創立當時の事を顧みて感慨又深きものがある(中略)。幾多同志の犠牲的努力を忘れてはならない。殊に現在假令中の右塚前主事の我等が陣營確立の爲めに拂はれた努力は多き(中略)。我等は過去一年間に於て、電話民衆反對、演習、大引反對、或は我等が輝ける指導精神の映りなき實踐と統制ある團體的行動の賜物である。政府はく々今年度度夏前の削減を計畫して居る(中略)。我等は現狀以上の整理縮少は斷乎として反對しなければならぬ(中略)。我等が生活保護の當否な事である(中略)。又選信事業の如き公共事業を資本家的政策の犠牲にしてはならぬ。我等は没落に陥する金融資本同救済の爲や頭迷なる官僚者流によつて蹂躪されんとする選信事業の公共性を我等の手によつて擁護の爲めに益々奮闘しなければならぬ(中略)。本大會は實に斯る方面に重要な意義と役割を持つのである。諸君が或る日當の經營を同じつての競争に備へる方針確立の爲めに慎重討議されんことを切望して議長挨拶にかへる」

一、一般會務報告

一、各部報告

一、會計報告

一、報告に對する質問並應答

質問 秋葉榮作君(下谷) 選信省回答の遅れたる理由並に誠意ありと思ふたる點

答 當主事 選信省の回答が遅れたのと選信省の敬願事項に對する誠意問題と同一に考へる事は早計である。前項に付いては機會ある度に其の回答を催促した、第二項に就いては其の回答の内容並に選信當局と我が連友同志會との團體的接觸が従前より幾分でも合理化された點である例へば其の回答方式である。

質問 海老原哲君(下谷) 貯金局問題の解決條件——(復讐日給)——に付いて當時の報告と差違なきや

答 當主事 差違なし、名譽昇給した額を以つて復讐せしめたき希望は持つて居つた

質問 柴田小太郎君(淀橋) 淀橋問題の被解雇者に關する件三項

答 當主事 イ、淀橋問題は問題そのものが甚だ遺憾な問題であつた、ロ、解決條件は有利と考へて居る、ハ、質問の云ふが如き行動が本人達にありとすれば階級的立場より許せぬ(拍手)

質問 藤井鹿市君(廣島土生) 三等局議員制度に關して當局は漸次直轄局に改めつゝあると云ふが具體的事實

答 高地本部長、三等局の増加數と二等局の増加比率は少いが都市に於いては相當二等局が増して居る事は選信公報等により御承知の筈である。

質問 中里道之亮君(神田) 御用組合聯合時報等に對する本部の見解並に對策

答 高地本部長 御用組合従業員會は公選二十八號によるものであつて完全なる御用組合であり其機關紙聯合會報も彼等一二御用幹部の個人機關紙も同然である。彼等は選友同志會の運動を妨害するのが其の役目であり、聯合時報が本派面を擧げて本會に對するデマと中傷に埋めつくされて居るのも没落し行く御用組合自身の運命を支へんとする最後のものがきであつて、彼等は我等の正しき指導精神と時代的合理性を持つ我等が大筋の前にヒトリデに崩壊して行き大家は我等が陣營に來り投ずるであらう故に我等が御用組合に對する對策は本會指導精神の徹底と強大なる擴大強化行動である。そのことは直ちに彼等御用組合援滅運動だと云へて居る(拍手)

希望 塚川直治(本郷) 唯今の答辯は餘りに樂觀的であり過ぎると思ふ、もつと積極的な御用組合紛糾運動を講ぜられたい事を希望する(拍手)

質問 柴田小太郎(淀橋) 本部の補助機關として支部聯合會を設置したる理由、支部長會等に幹事長を出せしめざる

理由 當主事 前項に就いては我等が戦線の擴大に伴ふ必然的要求であり第二項に就いては原則として支部長を召集する